

広告



▲4月18日(土)にオープンの日を迎えた観光案内所「あいロード夕日の丘」。

営業期間 11月30日(月)まで
 営業時間 10:00～日没後30分程度
 場所 厚田区厚田12-4(夕日の丘パーキング横)
 問合せ あいロード夕日の丘 ☎78-2000



◀▼「あいロード夕日の丘」の横には石碑と、にしん街道標柱も設置されています。



国道231号沿いに4月18日(土)、石狩の新たな観光拠点として観光案内所「あいロード夕日の丘」がオープンしました。海を見渡せるいす席や立食用テーブルが並ぶ館内では、石臼でひいたそば粉を使用した本格そばやうどん、カレーライスなどの軽食を楽しめるようになっており、恋人の聖地にちなんだ商品や、聚富にあるふれあいきこの村の「生しいたけ」といった特産品も販売しています。

「そばは厚田で栽培された無農薬のそばを新港地区の山加製粉(株)で製粉し使っています」とはそばの製品化を担当した厚田産業(株)の藤田靖則さん。「厚田は米の生産が有名ですが、そばも作っている

夕日と食事を楽しめる 観光スポットが誕生

というのをここから発信していければ」と期待を寄せます。試行錯誤の末、完成したそばは細めの丸麺。つゆとの相性も抜群で、ひとくち食べるとそばの香りが口いっぱいに広がります。また、店長の阿部政二さんは「お米にもこだわっていて、カレーライスなどには厚田産の『ほしのゆめ』を使っています」とPR。「早くて、おいしくて、安くて、親切をモットーに、メニューはすべて500円以内で用意しています。観光に来た方はもちろん、市民の皆さんにぜひ利用してもらいたいです」。

恋人の聖地や厚田の海へドライブがてら立ち寄るもよし、近くに住む人は昼食時に利用してみるのもおすすめです!

子育て今昔

◆『続日本紀』に慶雲元年(704年)、河内國かわちのくにたかのむらじくすめ高屋連葉女が一度に三男を産んだ、国はご褒美として長男に絶二疋・綿二屯・布四端を遣わしたと記されている。別の項では乳母一人を贈ったなど、この慶事を国の重大な出来事として扱っている ◆山上憶良は、「銀も 金も玉も なにせむに まされる宝 子に及かめやも」と万葉集に残し、今も昔も子どもへの愛情は変わらぬことを伝えた名歌である ◆さて現代の子どもたちはどうなのかとなると、一言では言えない程多くの問題が顕在化し、親も子も行政も学校もその課題解決に汲々としているのが現実。このたびの「子育て応援特別手当」も実のところ1300年前の施策とそう変わるものではなく、本質論はいささか違うところにある。でも給付金を手にするとやはり嬉しいのは、いつの世も同じであるだけに話はいささかややかしいことになる ◆市の出生率がここ数年回復基調にあるのは朗報で、年間500人台に達することも夢ではなくなってきた。第2次ベビーブームの余波だけとは言えない、本市子育てへの取り組みも成果に結びつきつつあると思っている。子どもに優れる宝はあるはずなく、子育て環境は政策の極めだと考える。

(市長)